



平成26年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ハニーズ
コード番号 2792 URL <http://www.honeys.co.jp>

代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江尻 義久
問合せ先責任者(役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 西名 孝 (TEL) 0246-29-1111

四半期報告書提出予定日 平成26年1月14日 配当支払開始予定日 平成26年1月29日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年5月期第2四半期の連結業績(平成25年6月1日～平成25年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年5月期第2四半期	29,777	△0.9	1,306	△44.3	1,184	△49.9	434	△65.7
25年5月期第2四半期	30,054	3.8	2,346	—	2,364	—	1,266	—

(注) 包括利益 26年5月期第2四半期 479百万円(△70.3%) 25年5月期第2四半期 1,615百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年5月期第2四半期	15.58	—
25年5月期第2四半期	45.37	—

(注) 第1四半期連結累計期間より、会計方針を一部変更しており、前年同期については各財務数値に対して遡及処理を行っております。これに伴い、25年5月期第2四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年5月期第2四半期	38,374	30,051	78.3	1,077.13
25年5月期	38,045	29,990	78.8	1,074.93

(参考) 自己資本 26年5月期第2四半期 30,051百万円 25年5月期 29,990百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年5月期	—	15.00	—	15.00	30.00
26年5月期	—	10.00	—	—	—
26年5月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成26年5月期の連結業績予想(平成25年6月1日～平成26年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	61,250	△1.1	2,500	△46.9	2,300	△56.0	830	△69.7	29.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	26年5月期2Q	27,900,000株	25年5月期	27,900,000株
② 期末自己株式数	26年5月期2Q	72株	25年5月期	72株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	26年5月期2Q	27,899,928株	25年5月期2Q	27,899,928株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融証券取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、「三本の矢」を柱とするアベノミクスのもと、円安・株高を背景として緩やかに回復を続けましたが、輸出や個人消費の伸びは幾分鈍化しました。

当社グループが属するレディースカジュアル専門店業界は、円安の進行に加え、秋口の残暑や台風の度重なる接近など激しさを増す気象に振り回され、厳しい経営環境に置かれました。

このような状況のなか、当社グループにおきましては、大人カジュアルのシネマクラブをフェミニン系とナチュラル系の二つに分け、通勤カジュアルのグラシアを加えて、幅広い世代と様々な生活シーンをカバーするブランド展開としました。また、既存店活性化に向けた施策として、より幅広い年代のお客様に訴求すべく、コーディネート提案の強化および笑顔で感じの良い接客を徹底するなど、販売力の強化に努めてまいりました。

そのほか、中国における人件費の上昇や円安に伴う仕入れコストの上昇に対応すべく、商品単価の見直しを行うとともに、商品の品質や機能性を強化するなど、価格に見合った価値の演出を試みました。

店舗展開に関しましては、引き続きスクラップアンドビルドを進めた結果、当第2四半期連結会計期間末における国内店舗数は841店舗となりました。

中国子会社である好麗姿(上海)服飾商貿有限公司(注)におきましては、当第2四半期連結会計期間末における直営店舗数は577店舗となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間におきましては、売上高は297億77百万円(前年同期比0.9%減)、営業利益は13億06百万円(同44.3%減)、経常利益は11億84百万円(同49.9%減)、四半期純利益は4億34百万円(同65.7%減)となりました。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

<日本>

日本における売上高は240億69百万円(前年同期比5.8%減)、営業利益は13億35百万円(同34.6%減)となりました。不安定な天候の影響等により、売上高が前年を割り込んだことから、減益となりました。

<中国>

中国における売上高は57億07百万円(前年同期比26.5%増)、営業損失は68百万円(前年同期は営業利益2億64百万円)となりました。販売競争が激しさを増して、価格の優位性を発揮できずに営業損失となりました。

<その他>

報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ミャンマー現地法人の事業活動を含んでおります。当第2四半期連結累計期間における営業損失は42百万円(前年同期の営業損失は18百万円)となりました。

(注)好麗姿(上海)服飾商貿有限公司の社名は中国語簡体字を含んでいるため、日本語常用漢字で代用しております。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて3億28百万円増加して383億74百万円となりました。これは、たな卸資産が増加したこと等によるものです。

負債については、前連結会計年度末に比べて2億67百万円増加して83億22百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が増加したこと等によるものです。

純資産については、前連結会計年度末に比べて61百万円増加して300億51百万円となりました。これは、為替換算調整勘定が増加したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、日本においては、4月の消費税引き上げなど景気の先行きに対する不透明感が強く、中国においても個人消費の動向に変化の兆しが見られないことから、平成25年7月2日の決算公表時に発表いたしました平成26年5月期通期業績予想を修正しております。

なお、詳細につきましては、本日別途開示いたします「通期業績予想の修正に関するお知らせ」および「剰余金の配当(中間配当)および期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(たな卸資産の評価方法の変更)

当社及び連結子会社の商品の評価方法は、従来、主として売価還元法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間から、新在庫管理システムが本稼動し、継続記録による商品の受払に基づく在庫単価の計算がシステム化されたことに伴い、より合理的な商品の評価及び適正な期間損益の計算が可能になったため、総平均法に変更しております。

当該会計方針の変更は遡及適用され、前四半期連結累計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。この結果、遡及適用を行う前に比べて、前第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ8,565千円増加しております。また、前連結会計年度の期首の純資産に累積的影響額が反映されたことにより、利益剰余金の前期首残高は545,082千円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,684,698	6,101,405
売掛金	3,592,483	4,072,286
たな卸資産	7,158,891	8,800,066
未収還付法人税等	975	50,610
その他	1,411,755	1,028,728
貸倒引当金	△1,541	△1,426
流動資産合計	19,847,262	20,051,669
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,529,782	6,685,690
その他	2,928,376	2,859,645
有形固定資産合計	9,458,158	9,545,336
無形固定資産		
その他	228,792	218,309
無形固定資産合計	228,792	218,309
投資その他の資産		
差入保証金	7,664,612	7,677,090
その他	877,478	907,020
貸倒引当金	△31,152	△25,344
投資その他の資産合計	8,510,939	8,558,766
固定資産合計	18,197,889	18,322,412
資産合計	38,045,152	38,374,082
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,690,212	2,088,618
短期借入金	150,400	314,630
1年内返済予定の長期借入金	660,000	289,600
未払法人税等	797,783	583,587
ポイント引当金	3,527	3,584
資産除去債務	9,870	15,521
その他	2,720,665	2,935,367
流動負債合計	6,032,458	6,230,909
固定負債		
退職給付引当金	1,213,116	1,282,320
資産除去債務	780,848	791,823
その他	28,250	17,153
固定負債合計	2,022,215	2,091,297
負債合計	8,054,673	8,322,207

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,566,800	3,566,800
資本剰余金	3,941,880	3,941,880
利益剰余金	21,968,826	21,985,192
自己株式	△330	△330
株主資本合計	29,477,175	29,493,542
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,105	6,339
繰延ヘッジ損益	146,091	89,683
為替換算調整勘定	362,105	462,309
その他の包括利益累計額合計	513,302	558,332
純資産合計	29,990,478	30,051,874
負債純資産合計	38,045,152	38,374,082

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年11月30日)
売上高	30,054,793	29,777,083
売上原価	12,539,838	12,323,116
売上総利益	17,514,955	17,453,967
販売費及び一般管理費	15,168,872	16,147,781
営業利益	2,346,083	1,306,185
営業外収益		
受取利息	1,611	1,885
受取配当金	234	239
為替差益	—	83,153
受取地代家賃	20,153	17,156
受取補償金	3,014	17,463
補助金収入	37,582	43,366
貸倒引当金戻入額	2,664	5,829
雑収入	16,862	17,554
営業外収益合計	82,123	186,648
営業外費用		
支払利息	11,887	11,488
為替差損	45,322	—
デリバティブ評価損	—	291,916
雑損失	6,587	5,285
営業外費用合計	63,797	308,690
経常利益	2,364,409	1,184,144
特別利益		
受取損害賠償金	60,309	3,032
補助金収入	—	33,790
特別利益合計	60,309	36,822
特別損失		
固定資産除却損	123,435	150,352
減損損失	38,005	27,042
その他	6,100	7,973
特別損失合計	167,541	185,368
税金等調整前四半期純利益	2,257,176	1,035,597
法人税、住民税及び事業税	1,038,445	543,924
法人税等調整額	△47,285	56,808
法人税等合計	991,159	600,732
少数株主損益調整前四半期純利益	1,266,017	434,865
四半期純利益	1,266,017	434,865

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,266,017	434,865
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	969	1,234
繰延ヘッジ損益	500,889	△56,408
為替換算調整勘定	△152,045	100,203
その他の包括利益合計	349,814	45,029
四半期包括利益	1,615,831	479,895
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,615,831	479,895
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,257,176	1,035,597
減価償却費	687,118	715,166
減損損失	38,005	27,042
デリバティブ評価損益(△は益)	—	291,916
退職給付引当金の増減額(△は減少)	70,460	69,204
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,664	△5,058
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△76	57
受取利息及び受取配当金	△1,845	△2,125
支払利息	11,887	11,488
受取損害賠償金	△60,309	△3,032
固定資産除却損	109,268	144,287
売上債権の増減額(△は増加)	△178,251	△396,102
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,282,091	△1,546,092
仕入債務の増減額(△は減少)	727,818	349,523
未払金の増減額(△は減少)	△20,577	△45,139
未払費用の増減額(△は減少)	△88,192	81,340
未払消費税等の増減額(△は減少)	△85,897	△35,927
その他	△56,117	△123,012
小計	2,125,713	569,134
利息及び配当金の受取額	1,845	2,125
利息の支払額	△11,887	△12,077
損害賠償金の受取額	60,309	3,032
法人税等の支払額	△1,529,215	△748,898
災害損失の支払額	△5,340	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	641,424	△186,684
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△794,879	△694,919
無形固定資産の取得による支出	△8,308	△5,545
投資有価証券の取得による支出	△383	△398
差入保証金の差入による支出	△117,315	△171,012
差入保証金の回収による収入	170,028	178,773
資産除去債務の履行による支出	△20,645	△26,371
その他	11,915	797
投資活動によるキャッシュ・フロー	△759,587	△718,676
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	105,219
長期借入金の返済による支出	△370,400	△370,400
リース債務の返済による支出	△10,909	△10,955
配当金の支払額	△278,999	△418,498
財務活動によるキャッシュ・フロー	△660,309	△694,634
現金及び現金同等物に係る換算差額	△33,036	16,702
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△811,508	△1,583,293
現金及び現金同等物の期首残高	8,220,891	7,684,698
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,409,382	6,101,405

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成25年6月1日至平成25年11月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年6月1日至平成24年11月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	日本	中国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	25,542,930	4,511,863	30,054,793	—	30,054,793
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	21,435	21,435
計	25,542,930	4,511,863	30,054,793	21,435	30,076,228
セグメント利益	2,041,439	264,822	2,306,261	△18,083	2,288,178

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ミャンマーの現地法人の事業活動を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,306,261
「その他」の区分の利益	△18,083
セグメント間取引消去	57,905
四半期連結損益計算書の営業利益	2,346,083

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「日本」及び「中国」セグメントにおいて、割引前将来キャッシュ・フロー総額が帳簿価額に満たない店舗については、帳簿価額を回収可能額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

「日本」及び「中国」セグメントにおいて、それぞれ24,771千円、13,234千円の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において38,005千円であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成25年6月1日至平成25年11月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	日本	中国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	24,069,243	5,707,840	29,777,083	—	29,777,083
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	89,070	89,070
計	24,069,243	5,707,840	29,777,083	89,070	29,866,153
セグメント利益	1,335,949	△68,396	1,267,553	△42,183	1,225,369

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ミャンマーの現地法人の事業活動を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,267,553
「その他」の区分の利益	△42,183
セグメント間取引消去	80,816
四半期連結損益計算書の営業利益	1,306,185

3 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より、商品の評価方法を主として売価還元法から総平均法に変更しております。

当該変更は遡及適用され、前第2四半期連結累計期間については遡及適用後のセグメント情報となっております。その結果、前第2四半期連結累計期間のセグメント利益又は損失は、遡及適用を行う前と比較して、「日本」でセグメント利益が64,729千円増加、「中国」でセグメント利益が56,163千円減少しております。

4 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「日本」及び「中国」セグメントにおいて、割引前将来キャッシュ・フロー総額が帳簿価額に満たない店舗については、帳簿価額を回収可能額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

「日本」及び「中国」セグメントにおいて、それぞれ20,479千円、6,563千円の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において27,042千円であります。